早川では、自分の仕事に誇りを持っているように思いました。祭して、もりかいまと
感じながら仕事をすることは良いことだし、あこがれます。
しいも当たり前に早朝に成み上にとうかんでいる新聞だければ、うらには、1000人上人上にもめたるちゃのかかがあり、それで成り立っていることがでなめてわかいました。

を握くすせ合社は残ったり、とまには合社に泊まったり。体目でもニュースを廻いかりて見好を
をなということは、1分4日からも精神的にも大意なことです。これから、新聞を読んでみた
しい、と思いました。多くの活字にあいりそうになるけれど、しらいるな自分のもになると思います。

「新聞記者の仕事とは」(読売新聞姫路支局 早川保夫様)の講演を聞いて

これまで新聞は大人が読むものたでと思っていましたかたく さんの人が関わり、日々の新しい出来事をすばやく言己事にして いたり、1日の新聞の言己事を何百人という人の数が作っている のたでとなり、銀の末を持ちました。 和自身、気では新聞をとって いるのにもりかわらず、あまり見ることはなく、西親か言売むば 切りなので、少しかも読む大機会をも増かし、発力強にった 1かていければいいなと思いました。

面自己	しててに	色など	角虫れる	木幾	気か	\$13	耳就	業なん
たない	し思った	* *	a 2 2	2 1			3	
				OC.	* ~~		0 5	
282		g 2010	10 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	, X 11			y et ett	
. e * . _j e.		Register		ν ω ν <u>φ</u>	1.,		(4)	
							<u>a</u>	

「新聞記者の仕事とは」(読売新聞姫路支局 早川保夫様)

2回も転きんしていかなところに行けてい 思った。イラステングの記事のようにユニークな記事 あるなら、新聞を読んでみようと思えた。 景が響は大きなものだけな記事 ラルると思うとすごしし



早川さんのお話を聞いて思ったことは、記者
というな事はとりもやりか"いのあるな事で"ということです。早川さんか"、
これまか1:車京ヤ大阪、奈良に広島など、12回もの車を動を経て分に至う
という話を聞いて日子は夢きましての転動がクレクは大変が"と思うけれた"
全国も回って取材がプラスタ、ヤリがいも感じるだろうなと思いました。

Nata (2)

「新聞記者の仕事とは」(読売新聞姫路支局 早川保夫様)の講演を聞いて
新聞記者の仕事内 またとって エンタメ
もりして ましてして オンドレーフょ を 見い ひました。
また、 年下旬 の オンナカル より 東成 7生ました。

たった1つの記事をつくるのに、記者、取材される人で現場、記事をかりする人など、たくさんの人が動いてや。とてきあからたものなんだなと思いました。何気なく見ていた1つの言己事も見方を変えれば、多くの人が関わっている分、たくさん得られるものか、あるなと思いました。新聞を読まなりことが多かったけど、この様会から言売んでみたいなと思いました。



「新聞記者の仕事とは」(読売新聞姫路支局 早川保夫様)の講演を聞いて

新聞の記事がどのように作られているかを知ることができて良かったし、とても楽しろうだなと思いました。時事問題を知るということは、必要なことだと思ったので、時期があれば新聞を読んだり、ニュースを見たりして、自分がら積極めないそういった情報を取り入れるようにしよう、と思います。



新聞記者の1季をしているとてこくけい転勤かいあると矢の出ましてい、新聞には歴史や久市の一川ではと"でこくさんの分野があるけれと"をの1つ1つに担当かあることも知れましている毎日の新聞もでくさんの取材で成り立、ているんででなと思いましてい、時には自然、災害や内戦のあってに危険なる場所に、行って取材をしてはければならない。新聞はネットニュースより情報が出るのは遅くても正確性かであって時には「17月かけて取材してことなど"も書かれていると新聞の記事1つ1つを丁寧に読むうと思いましてい

「新聞記者の仕事とは」(読売新聞姫路支局 早川保夫様)の講演を聞いて

最初に僕は「大変だけどなんか良い仕事だな」と早川さんの話を聞いて思いました。僕は祖母が新聞をとっているので毎週の土曜日に見ています。とてもないげなく見ていたので、あっ、そうなんや。」と思うことがたくさんありました。何にでも興味を持つ」というとは難しいことだと思います。しかし頑張って興味を持つことでまた新しい世界が見れてくるのかなと思いました。

毎日新聞もがすることはそっち大変だうかと思いました。
たくさんの人が関わって新聞は作り上げられていて、私は全然読みで
ことがないけで、今日の話を聞いて、また言むんでみたくなりました。 新聞 はいろいろなデャンルの内容があり、だから興味がないことを取材することもあるから、基礎知識 くっかはもっておいたほうがいいと分かりました。 人にかがりやすく読んでもううために、見出したるの内容の結果を書いたり、いろんなエ夫がされていてすごにと

新聞記者の仕事とは」(読売新聞姫路支局 早川保夫様)の講演を聞いて

新聞には1000人をこれるたくさんの人々がたがさりることでしまり正確に、より運く私にちに情報を伝えることができまるのが おさんだなと思いました。までなの仕事は、体みの日も取材をしたり、 会社にとすることもある。大賞なイエ単だけど、いろんなニュースの裏付り や背景を直接物ることのできる特別な頂が葉だなと思いました。 私の家では新聞をとっていないので、学校においてある新聞を ちょうと読んでおようのなと思いました。 我が家は昨年受験があるという下車由2"神ぐ新聞をとりにおいりました。今年2"は新聞でけてらことしいとニュース2"知ることがあることがあることを知りましてのネットニュース2"は自分のけきます。これにいい続きないかりての2"新聞を読べこと2"に3い3など知識がっきました。新聞信己者は記事をかくてこれにこいるのでよくに国がなとしる読む人に分かりですく伝えないけんけてはななまいの2"大安でごと思いました。私も今のうちから免り強や好奇にでもの?ニュースを読み、その識をつけてにいる思いました。

新聞記者の仕事とは」(読売新聞姫路支局 早川保夫様)の講演を聞いて

では面白い語で興味をもって関くことができた。大きいニュースからいさい ニュースまでいろんなことを取材しているかなど思いまた。語の中であた カラステングの記事のように批判の声を浴びる時もおけで、記者の人は 読む人の気持るがかからないのに、どう思れるが次の事を教え 書がないといけないのはとてき難しいなと思いました。また、被害者だ 被災者を取材するので、傷っけないような能度で考えて質問 しないていけないのもとても難しいなく思いました。

今日の話はよくもうれしか。たっです。毎年間記者についてないのイメージも「よかったので、東云動のタクナにはおといるきました。また、トものいりの種類があけられていて、それぞれも目当に分のいれるのもしりませれていた。 年月間記者すいは草目はそこまで早くないけるであからくてかたらり 不見見りなのでストレスかいわばそうたことおもいました。

新聞記者の仕事とは」(読売新聞姫路支局 早川保夫様)の講演を聞いて

今日の言ときいて、新聞を読んでけようと思いまいた。
1つの言と事をつくるのに、1時間や40分ほと"と"言と事と出ることがあると言。ていてそれにとてもあいる"るままいた。40分には"で"かいているのに言読いた"人に興味を特にせられるような、言と事をかくことが"で"きるのはすこ"いてよと思いました。
ちょっとしたスクークのも述さずにする"言と事にしてそれと世の中の人たちに発信していてかがあって平当にあこ"いてよと思いました。

家の、新聞は取りているけど自分での見ることはあかすりですいので、次からは自分やい気に信をものを見ていることから母かっけまうと

新聞は毎日すが星のトピックがあるからのすがさらみかり気がもよいし、あの中にはたいなの人の思いればつまっていて、様々な経験のトピックをあるかがあるんだはと実際しまいた。

世の中で起きている出来手をすべた、正確に、1分かりやすく伝えて

新聞記者の仕事とは」(読売新聞姫路支局 早川保夫様)の講演を聞いて

私は、今日早川さんの講演を聞いて、現在の私は、部活を特に頑張っていて、あまり、遊んだりしていなか、たけとり、早川さんかり、たいた勉強も部活も遊びもたくせんした方がいい、ということを聞いて、もっと遊ぼうと思いました。

また、新聞記者の方は、すっか、文章力や、語彙やかあるのかなと、思いました。これからいろんなことに関心をもつと視野が広かると思いました。

僕は早川せんからのうなに 勉強したり、遊んかり、もまむまなひとる 経験するひとも知識まつけること加大切とおしかでいたのでは遊び大いけてい ない勉強もしっかりするようにしょうと思いました。また、僕は家で 新聞なるっていなってあまり読んないひとかかのかでき校なかで読む 時間があるともに読んでかようと思いました。

新聞記者の仕事とは」(読売新聞姫路支局 早川保夫様)の講演を聞いて

/今日の話はとても面目か、たこです。 普段等所記する方がどのように取材を したり記事を書いたりしているのかを 知れて興味深か、たこす。 高校に入ってからはかしくてあまり 条斤間を言えめていなかったのですが、 今日の講演をきっかけに、少しても時 間を作、て意気みていと思いまり。